

安全データシート (SDS)

ホワイトセーフ

1、製品および会社情報

製品名：ホワイトセーフ
用途：業務用洗浄剤
会社名：株式会社つやげん
住所：〒145-0075 東京都大田区西嶺町 13--9
電話番号：03-5741-8011（代表）
担当部門：鶴見工場
緊急連絡先 045-585-3912（鶴見工場）
作成：平成 24 年 9 月 14 日
改訂：平成 28 年 9 月 16 日

2、危険有害性の要約

■化学物質等の分類：腐食性物質

物理化学的危険性		人健康有害性	
GHS分類	区分	GHS分類	区分
爆発物	区分外	急性毒性（経口）	区分外
可燃性又は引火性ガス（化学的に不安定なガスを含む）	分類対象外	急性毒性（経皮）	分類できない
エアゾール	分類対象外	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス類	分類対象外	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
高压ガス	分類対象外	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分 4
引火性液体	分類対象外	皮膚腐食性及び刺激性	分類できない
可燃性固体	分類できない	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 1
自己反応性化学品	分類できない	呼吸器感作性	分類できない
自然発火性液体	分類対象外	皮膚感作性	分類できない
自然発火性固体	区分外	生殖細胞変異原性	分類できない
自己発熱性化学品	区分外	発がん性	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外	生殖毒性	分類できない
酸化性液体	分類対象外	特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（気道刺激性、麻酔作用）	
酸化性固体	分類できない	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
有機過酸化物	分類できない	吸引性呼吸器有害性	分類できない
金属腐食性物質	分類できない		
		環境有害性	
		GHS分類	区分
		水生環境有害性（急性）	区分 3
		水生環境有害性（慢性）	分類できない

■GHSラベル要素



■注意喚起語：危険

■危険有害性情報

：吸入すると有害

：重篤な眼の損傷

：呼吸器への刺激のおそれ

：眠気又はめまいのおそれ

：水生生物に有害

注意書き

■安全対策

粉じん、ミストの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

■応急処置

吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ただちに医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師に連絡すること。

■保管：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

■廃棄：内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3、組成、成分情報

■単一物質・混合物の区別：混合物

化学式または一般名	化学式	化審法番号	CAS-No	安衛法番号	含有量 (%)
炭酸塩	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
過炭酸塩	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
キレート剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
非イオン界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示

4、応急措置

■吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

■皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。医師の診断、手当てを受けること。

■眼に入った場合：流水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

■飲み込んだ場合：直ちに口をすすぐこと。コップ1～2杯の水を飲ませ直ちに医師の診断、手当てを受けること。無理に吐かせないこと。

■ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

5、火災時の措置

消火剤：一般火災の場合は水を用いる。

特有の危険有害性：加熱分解により発生する酸素ガスが周囲の可燃物の燃焼を助け、火災を激しくするので注意が必要である。（支燃性がある。）

特有の消化方法：周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所へ移動させる。移動不可能な場合は容器及び周辺に散水して、容器の破壊を防ぐ。

消火を行う者の保護：適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6、漏出時

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。密閉された場所に立ち入る前に換気する。

環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。

回収・中和：不活性材料（乾燥砂または土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

封じ込め及び浄化方法・機材：危険でなければ洩れを止める。

二次災害防止策：排水溝、下水溝、地下室あるいは密閉場所への流入を防ぐ。

7、取扱い及び保管上の注意

■取扱い

技術的対策：「8、暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気：「8、暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。

安全取扱注意事項：取扱い後はよく手を洗う。この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

飲み込まないこと。皮膚および眼との接触を避けること。

接触回避：「10、安定性及び反応性」を参照。

■保管

混触危険物質「10、安定性及び反応性」を参照。

保管条件：強酸化剤から離し、容器を密閉する。直接日光、40℃以上の高温、-5℃以下の低温を避け、換気の良い冷暗所に密閉、施錠して保管する。

8、暴露防止及び保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：未設定

設備対策：この製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具：適切な呼吸器保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用する。

衛生対策：取扱い後はよく手を洗うこと。この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

9、物理的/科学的性質

色	白色
形状	粉状固体
pH	10.0（1%水溶液、20℃）
溶解度	水に容易に溶解
臭い	データなし
引火点	データなし

10、安定性及び反応性

安定性：常温・常圧では安定

危険有害反応性：自己反応性なし。酸、酸化性化合物と混合すると発熱および有毒ガスが発生することがある。

避けるべき条件：混触危険物質との接触。

混触危険物質：酸、酸化性化合物、鉄さび、重金属類。

危険有害な分解生成物：データなし。

11、有害性情報：

急性毒性：経口：混合物判定理論 LD50 推定値 A T E mix が 2,000mg / kg 以上であるため区分外とした。

経皮：データ不足のため分類できない。

吸入（粉塵、ミスト）：混合物判定理論 LD50 推定値 A T E mix が 2.5mg / L であるため区分 4 とした。

皮膚腐食性及び刺激性：データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 1 の成分を 3%以上含むため区分 1 とした。

呼吸器感作性：データ不足のため分類できない。

皮膚感作性：データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性：データ不足のため分類できない。

発がん性：データ不足のため分類できない。

生殖毒性：データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性、麻酔作用）の成分を 20%以上含むため区分 3（気道刺激性、麻酔作用）とした。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：データ不足のため分類できない。

吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない。

12、環境影響情報

水生環境有害性（急性）：（毒性乗率×100×急性区分 1）+（10×急性区分 2）+急性区分 3 が 25%を超えるため、区分 3 とした。

水生環境有害性（慢性）：データ不足のため分類できない。

生態毒性：データなし

生態蓄積性：データなし

残留性・分解性：データなし

13、廃棄上の注意

残余廃棄物：産業廃棄物処理認定業者に産業廃棄物として委託し処理すること。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切に処理する。

14、輸送上の注意

国際規制

国連分類（Class）：クラス 8

国連番号（UN No.）：1759

容器等級：Ⅲ

国内規制

陸上輸送：消防法、安衛法に定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件：容器の破損、腐食、漏出等がないことに注意・確認する。転倒、落下、破損がないような積載方法、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急措置指針番号：154

15、適用法令

国内適用法令

消防法：非該当

労働安全衛生法：非該当

PRTR 法：非該当

毒劇物取締り法：非該当

船舶安全法：腐食性物質

航空法：腐食性物質

16、その他の情報

記載内容のお問い合わせ

会社情報

住所：東京都大田区西嶺町 13-9

会社名：株式会社つやげん

電話番号：03-5741-8011

*危険性・有害性の情報は当社の最善の調査、評価にもとづいておりますが、必ずしも安全性を十分に保障するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取り扱いには細心の注意を払って下さい。本品の適正な使用についてはご使用者の責任において使用くださいますようお願いいたします。